

市町村名	浦添市							
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-③	島桑オジー&オパーで観光・産業・街おこしプロジェクト			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(9)-イ		
担当部課名	市民部 経済観光局 産業振興課	事業実施 (予定)年度	平成24~28年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	県産品の販路拡大と地域ブランドの形成 Ⅲ-1-(4)		
事業内容	沖縄の桑品種である「シマクワ」を利用した特産品の開発・普及を、年々増加する高齢者労働力を活用し推進することで地域の活性化を促進する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	17,387	32,424	31,059	34,925	41,281	
		(b)予算現額	17,386	32,422	31,017	36,567	41,231	
		(c)増減額(b-a)	▲1	▲2	▲42	1,642	▲50	
		(d)繰越額	—	0	0	0	0	
		A. 計(b+d)	17,386	32,422	31,017	36,567	41,231	
	B. 執行済額		15,232	26,747	27,314	31,904	32,431	
	うち交付金充当額		11,590	19,456	21,851	25,523	25,944	
	次年度繰越額		—	—	—	—	—	
	執行率(%) (B/A)		87.6%	82.5%	88.1%	87.2%	78.7%	
予算の状況の説明		予算を減額した理由は入札差額である。不用額の8,000千円は、売上残額(5,110千円)と未執行残によるものである。契約仕様書に記載されている内容はすべて履行しており適正である。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況					
				25年度 (4-⑥)	26年度 (4-⑤)	27年度 (4-③)	28年度 (4-③)	
	桑の栽培	目 標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)		
		実 績	実施	実施	実施	実施		
	商品製造	目 標	(ー)	(ー)	(実施)	(実施)		
		実 績	ー	ー	実施	実施		
	商品開発	目 標	(ー)	(ー)	(ー)	(2商品)		
		実 績	ー	ー	ー	2商品		
	販売促進	目 標	(ー)	(ー)	(実施)	(実施)		
		実 績	ー	ー	実施	実施		
達成状況説明	「桑畑拡大・維持管理」については、将来的な販路拡大を見越し原料である桑葉及び桑果実を安定生産するために必要な畑の拡大を行った。「商品製造」については、収穫物を商品に加工した。「商品開発」については、桑果実のリキュールと桑葉粉末の分散性を向上させた顆粒商品の2つを新規商品化した。「販売促進」については、県内外に向けた販売促進活動を行った。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H28成果目標(指標)			基準値 (24年度)	25年度	26年度	27年度	目標値 (28年度)
	事業に要する桑園契約面積	目 標	(3160坪)	(4,800坪)	(5,800坪)	(7,800坪)	(8,800坪)	
		実 績		4,722坪	6,434坪	7,776坪	8,425坪	
	乾燥桑葉原料	目 標	(0kg)	(300Kg)	(600kg)	(1,600kg)	(2,400kg)	
		実 績		360Kg	540kg	1,321kg	1,998kg	
	桑関連商品合計販売額	目 標	(90千円)	(2,000千円)	(4,000千円)	(8,000千円)	(12,000千円)	
		実 績		2,938千円	4,036千円	4,762千円	12,200千円	
	進捗状況説明	「桑畑の面積値」については、原料確保のために必要な取り組みであり概ね目標値は達成できた。「乾燥桑葉原料」については、桑茶商品の原料となる乾燥葉の生産量のことである。乾燥加工業者の都合により処理量が1,998kg上限となったため達成できなかったが、販売目標額に影響は及ぼさないものとして考えている。「販売額」については、県内の量販店舗の取り扱いが増えたことと県内健康食品メーカーからの原料取引が増えたことにより達成できた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	沖縄県内で生育するシマグワは、県外で使用されている桑品種と特性が異なることから、独自の栽培技術の構築が必要である。 沖縄県内のシマグワについては、今まで食品として利用されてこなかったことから認知度が低い。また、シマグワの特性や成分優位性については、研究が行われていないため、認知度が低い要因となっている。 健康食品メーカー等へ原料販売を開始しており、品質管理及び在庫管理の徹底が求められている。	シマグワをベースとした品種を育成しており、実用化に向けた栽培管理方法のノウハウ構築を行う。 シマグワの特性及び成分の優位性や効能試験(ヒト試験)を研究機関等と共同で調査・研究し、シマグワの特性及び効用の実証に取り組む。優位性を明らかにすることで、効果的な製品化検討及びブランド構築に繋がる。 製造工程の見直しによる品質改善を県の専門機関等を活用しながら進めていく。在庫管理については、生産量及び販売量を計画的に予測・検証を行う。
今後の取り組み方針		
今年度の県外市場への販路調査のための県外展示会においては、生産量及びコスト面での課題について具体的な情報収集ができた。中には、シマグワの機能性成分の優位性に興味を持つ企業からの声もあり、成分値の保証や詳細データについて提供を求められた。生産及びコスト面での課題は、引き続き専門機関等を活用しながら課題の改善を図り、機能性成分の保証や詳細データについては、保証方法や成分抽出方法に係る高度な加工技術の検討を進めることで解決を図る。 県内においては、今までの新商品開発や研究実績の周知をきっかけに、県内健康食品メーカーが自社商品の原料として取り扱いを開始したことから販売実績が増えており、今後は県内製造メーカー向けの販路も展開しながら、生産と販売の進捗管理を計画定期に行う。育成中の果実用の桑品種に関しては実用化を検討しながら、収穫のコスト管理や商品開発を同時並行で進める。また、錠剤やエキス抽出等の高度な加工技術の開発を検討しながら小売商品による一般消費者向けの販路展開だけでなく、企業向けのOEM商品や原料販売の販路開拓にも注力していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>42,351</td><td>32,431</td><td>25,944</td><td>6,487</td><td>9,920</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	42,351	32,431	25,944	6,487	9,920
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
42,351	32,431	25,944	6,487	9,920										
浦添市 32,431千円 → 委託料 32,431千円 → 公益社団法人浦添市シルバー 人材センター 32,431千円 （沖縄特有の地域資源であるシマグワを活用した） （交付対象外経費 9,920千円）														
資金の流 れ、費 用、 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○地域の特産品開発と事業化の検討が主たる目的であるが、本市は高齢者を活用した継続的な農業の検討としても本事業を位置づけているため契約方法は地方自治法施行令第167条の2第1項第3号に基いた随意契約であり適正である。 ○予算規模は、当初で想定していた売上見込額を超えたため、数値上は執行残額が増えているが、実際の執行率は9割近くあるため適正である。 ○受益者に対しては、事業にかかる経費以外は認めていないため妥当である。 ○目的に準じた経費支出が事業途中、完了時に随時確認しており適正である。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												